

竹炭パウダーのダンボールコンポスト基材利用

シン合同会社（おだわら環境志民ネットワーク）

竹炭を燃やさないということ （ささやかな気候変動対策）



グリーンカーボン、ブルーカーボン、Jクレジット 脱炭素の風に乗る

荒廃竹林整備において伐採した竹の処理は大きな課題です。小田原では伐採竹の処理方法として竹炭づくりを行っています。木炭より優れた効果をもつ竹炭は、様々な可能性を秘めたエコ・マテリアルとしてその利活用は期待されています。



荒廃竹林問題とゴミ減量化という地域課題の解決から生まれた地域循環共生

小田原市では家庭から出る生ごみの減量化に取り組んでおり、民間団体である「生（いき）ごみクラブ」がダンボールコンポストの普及活動をしています。管理不十分による悪臭や水分過多、虫の発生等でダンボールコンポストを止めてしまう事例が多いと聞き、竹炭の脱臭効果・調湿効果・防虫作用を試していただきたく、生ごみクラブの皆さんに実証をお願いしました。効果顕著、想定以上の効果をもたらし、現在、ダンボールコンポストのスターターキットとして竹炭粉200g、トラブル対応用として300gを小田原市に購入していただいております。また、竹炭の無数の孔は、微生物のコロニーとなり、生ごみの分解促進効果があるといわれています。

カーボン・ニュートラルからカーボン・マイナスへ

生ごみクラブでは、こうしてできた竹炭粉入り肥料を、ソーラーシェアリングを行っている畑で薄荷やラベンダー等の栽培に活用しております。荒廃竹林で伐採された竹は竹炭となり、燃料として燃やされずにダンボールコンポストの基材として効果を発揮し、後に畑の肥料として土壌改良、根粒菌・菌根菌等の活性効果を発揮します。炭は炭素です。燃やしてしまえばCO₂となって大気中に放出されますが、燃やさずに土中に施用すれば炭素固定、カーボン・マイナスとなるのです。1グラムの炭で約3〜4グラムの二酸化炭素を削減したことになります。

III 竹に関する取り組み



無煙炭化器による竹炭作り



竹炭を粉ひき機でパウダーにしてポリ袋詰め

始めてみよう 段ボールコンポスト

段ボールコンポストって？
段ボールを利用した生ごみの堆肥化方法です。手軽な段ボールコンポストは初めての方にもオススメ！

なぜ生ごみ堆肥化がいい？
生ごみは80%が水分なので、焼却処分するには大きなエネルギーを消費し、焼却灰が残ります。一方、堆肥化すると、生ごみを「ごみ」として捨てないでこのような問題もありません！少しの手番をかければ、生ごみ野菜やお花づくりに活用できる堆肥に生まれ変わります。

生（いき）ごみ小田原プロジェクト since2010
令和2年5月末現在、小田原市内の約5,900世帯以上が登録し、各家庭で生ごみ堆肥化に取り組んでいます。小田原市と「小田原生（いき）ごみクラブ」が協働で普及活動を行っています。

段ボールコンポストの使い方はとても簡単！

STEP 1 段ボールを組み立てて中に基材を入れる
● 段ボールを組み立てて蓋の部分を外側に折り、カムテープで止める。厚でもOK
● 底に新聞紙を2〜3枚入れる。
● その上に基材を入れる。

STEP 2 生ごみを入れて混ぜる
● 基材を半分・竹炭を一袋入れる。（字に入ったら米ぬかも3カップくらい入れる）
● お水を入れる（腐ってダンゴが解れるくらい）

STEP 3 堆肥ができる
● 生ごみを入れて2〜4ヶ月ほどで分解しなくなります。
● 1〜2か月毎に混ぜて使ってください。

セット内容
● 段ボール（既製付） ● シヤベル ● 虫よけカバー（不織布） ● プラチンジ袋 ● くんち ● 竹炭 ● 説明書

小田原市の方に取組セットを無料で配布中!!
● 基材（肥料以外は米ぬかも付きます）

お問い合わせ
● 小田原市環境政策課（0465-33-1471）
● 小田原生（いき）ごみクラブ 会長 濱野智博

ダンボールコンポスト推進ポスター（小田原市広報）

シン合同会社（おだわら環境志民ネットワーク）

〒250-0053 神奈川県小田原市穴部174-16 若林テラス102
090-3085-2008 harima-n@lime.plala.or.jp